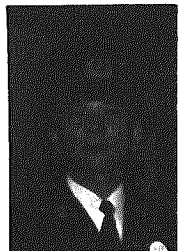


なぜ、ふえる交通事故 守ろう交通ルール

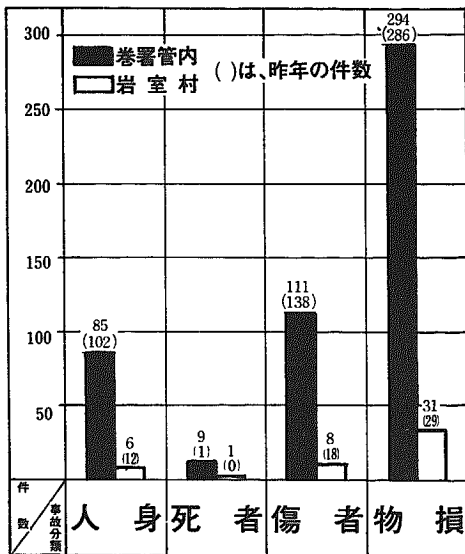
みんな



人間が生まれてから死にいたるまで、道路を用いない人は一人もいないでしょう。

車という文明の利器を、道路という場所で一歩あやまった用方をすることによって、人の生命が失われ、あるいは人の身体が傷つけられるわけです。道路交通の場の中において、千差万別の人々、住民のすべてが安心して道路を歩けるよう

交通事故発生状況(1月～5月まで)



思いやりのある ドライバーになろう

巻警察署交通課長 飯吉喜久雄

「おれの方が先だ」「イヤ、こちらが先だ」という闘争心となつたとき、結果は知れています。



岩室村井秀量さん

運転は心ゆとりをもって



間瀬小6年立島艶子さん

暴走運転はやめて!!



和納1区大岩清一さん

「自転車のルール無視」多いですね

毎日、車で通勤しているんですが、一度、時間ギリギリに出たことがありましてね。会社を遅れては大変という気ばかり先行して、イライラするんです。今考えるとゾッとします。こんな経験を反省して、運転するときは、充分余裕をもって出ることになっているんですよ。——交通安全——心のゆとりでないでしょうか。

私の家の前はシーサイドラインです。夜遅くすごいエンジンの音をたてて暴走族がくるんです。どうしてあんなことをするのかわかりませんが絶対やめてほしいと思います。

運転者も歩行者も、それぞれ、ゆづり合い、気をつければ事故も少なくなると思っています。みんなが交通ルールを守りましょう。

タクシーを運転していてもいつも気づくんですが、自転車の運転マナーがよくないことですね。それも立派な大人に多いんですから始末が悪いですよ。相手がなんとかするだろうではダメなんです……

そのため、運転の基本である——確実な一時停止、標識の確認・制限速度を守る——の三原則をしっかり肝に命じてほしいと呼びかけるとともに、取締りを強めることにしています。

それぞれの立場で 守ろう交通ルール

歩行者のみなさんへ——

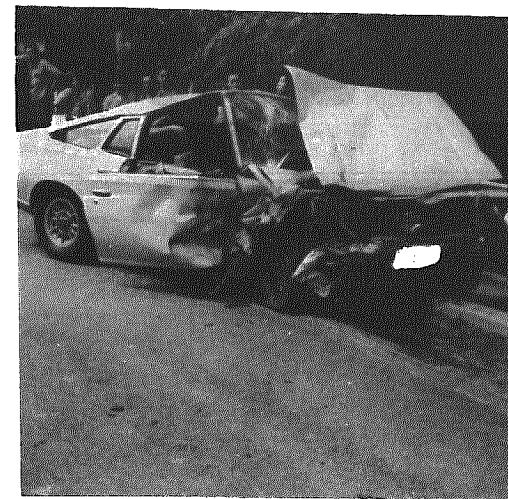
「道路を正しく歩く」こんな簡単なことが案外守られていないんですね。大人自らが範を立っていない、子どもたちへの注意も活きてくるんです。歩行のルールを正しく守ることは交通安全の基本なんです。ですから、お互い、反省したいものです。

運転者のみなさんへ——

運転は、心にゆとりをもって、くれぐれも安全運転を心がけてください。もちろん飲酒運転や暴走運転は犯罪です。絶対やめてください。

自転車利用者のみなさんへ——
手軽に乗れて便利な自転車ですが、乗り方をあやまると大変なことになります。自分の運転方法を再点検し、正しく安全に乗りましょう。

このままでは、大変なことに! 追放しよう交通三悪



▲ 暴走運転によりガードレールに激突
車は大破、運転者が死亡した事故

チョットした心のスキがこんな悲惨な結果につながります。くれぐれも安全運転を!

悲しいことですが、今、巻警察署管内での交通死亡事故の発生が増えています。このため、活動的な夏本番を迎えて、更に事態は深刻になるのでは……と心配しながら、村と巻警察署では、懸命に抑止対策を進めています。

交通事故のない日がニュースになるような今日「起きてあたりまえ」「私だけは大丈夫」などとなかばあきらめ的なことばも聞かれますが、本当にそれでいいのでしょうか。

「ある日突然、それも一瞬の油断から不幸のどん底に、こんな交通事故の恐ろしさにさらされている現実をしっかりと、うけとめ、今こそ自分自身の問題としてもう一度真剣に考え、一人ひとりの心に交通安全宣言をしていただきたいのです。

交通安全、結局は自分のためなんですから。

インタビュー 交通安全、ちょっと、ひとこと